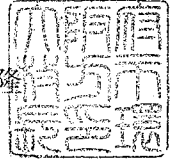


環 指 第 1081 号  
令和2年(2020年)3月4日

大阪府知事 吉村 洋文 様

枚方市長 伏見 隆



北陸新幹線（敦賀・新大阪間）に係る環境影響評価方法書  
に対する環境の保全の見地からの意見について（回答）

平素より本市環境行政にご指導・ご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、令和元年11月27日付け環保第2189号で照会のありました標記について、別紙の  
とおり意見を述べます。

北陸新幹線（敦賀・新大阪間）に係る環境影響評価方法書  
に対する環境の保全の見地からの意見について

当該事業は、北陸新幹線（東京都・大阪市間）のうち、敦賀を起点とし、新大阪駅を終点とする事業であり、ルートについては枚方市域を通過する予定となっており、駅については、敦賀駅、新大阪駅のほか、小浜市（東小浜）附近、京都駅、京田辺市（松井山手）附近に設置する計画である。

本来、環境影響評価方法書では計画段階配慮書における調査、予測及び評価の結果を踏まえて、単一なルートを選定した上で、環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法を選定するべきであるが、現方法書段階に到ってもルートが絞り込まれていない状況である。

したがって、事業者に対して、ルートの絞り込みのほか、現地調査及び環境影響評価準備書以降の図書作成にあたり、以下に示す事項に十分留意し、当該事業が環境に配慮したものとなるよう真摯に取り組まれることを要望する。

(1) 総括的事項

準備書においては、ルートを絞り込むとともに、改めて環境影響評価項目における各影響要因に対する環境要素を選定し、工事内容や調査の手法を具体化した上で、調査、予測及び評価を行うこと。また、ルート選定の根拠を明確に示すこと。

(2) 項目別事項

【大気質】

- ・大気質の現地調査においては、工事中の環境への最大負荷をもとに精査を行い、測定地点数、測定場所を適切に選定すること。

【騒音】【低周波音】【振動】

- ・トンネル工事において、シールド工法を採用する場合は、低周波音が懸念されることから、工事機械の選定にあたっては、低周波音対策がなされた機種を採用するとともに、採用ができない場合は必ず低周波音の調査、予測・評価を行い、環境保全対策を実施すること。

【水質】【地下水】【水資源】

- ・水質及び地下水の現地調査においては、工事中の環境への最大負荷をもとに精査を行い、測定地点数、測定場所を適切に選定すること。

【地形及び地質】【地盤沈下】

- ・想定されるルート上には、鋭敏粘土が広く分布する可能性があり、文献調査のみでは十分把握できないため、ボーリング調査や土質試験などの現地調査を併せて行うこと。また、ルート上に鋭敏粘土が分布する場合は、トンネル工事の工法選定において、施工中の周辺地盤への影響や施工後の長期圧密沈下に十分配慮すること
- ・準備書にはルートの平面図に加え、地盤状況を把握できる縦断図面・横断図面も記載すること。

#### 【発生土】

- ・トンネル工事から発生する掘削土のうち、建設残土については相当な量が見込まれることから、建設残土の発生量及び再利用を含めた処理方法を明らかにすること。

#### 【動植物】【生態系】

- ・調査範囲が坑口から600mの範囲で設定されているが、施工ヤードが大きくなると調査範囲が狭くなることから、その範囲は改変される土地の縁から600mに拡げること。
- ・工事用道路を設置する場合、そこにある生物群集や自然を分断することがないように十分配慮すること。

#### 【文化財】

- ・埋蔵文化財について、文献調査のみだけでなく、必要に応じて現地調査を行うこと。
- ・枚方市教育委員会及び大阪府教育庁との協議を行い、埋蔵文化財発掘調査の実施等、文化財保護が図られるよう、計画には十分配慮すること。

#### 【その他の項目】

- ・準備書において、工事車両の交通量が枚方市内の交通にどのような影響（交通渋滞等）を与えるかの予測・評価を加えるとともに、交通安全対策（通学路への安全対策、歩行者等への安全対策）をどのように実施するかを記載すること。
- ・道路状況の安全チェックについては、適切な時期、回数を実施すること。